

三洋化成工業株式会社



外観

1949(昭和24)年に創業。化学メーカーの三洋化成株式会社は、京都市に本社を構える。人材の多様化と、多様な価値観を受け入れ活躍できる職場環境の実現の一環として、LGBTQに関する取り組みを推進している。



トイレ入口

性別を問わず利用できる「だれでもトイレ」を京都本社に設置。車いす使用者やオストメイト、性的マイノリティの方にも配慮し、男性トイレだった場所を、多機能トイレとだれでも利用できる個室トイレに改修した。

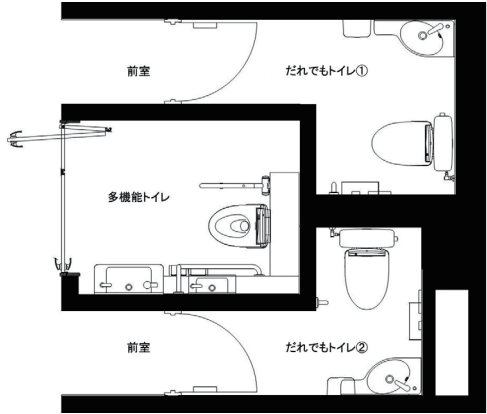


トイレ入口

各トイレ入口上部には、使用中をお知らせするランプを設置。ランプを点灯させることで、遠くからでも使用状況が認識しやすく、利用者同士の鉢合わせを避けられるよう配慮している。

トイレ図面

多機能トイレと、性的マイノリティの方に配慮しただれでも利用できる個室トイレを2ヶ所配置。だれでもトイレには、前室を設け、通路からの視線に配慮している。



多機能トイレ 入口

入口は、車いす使用者がアプローチしやすいように、広い有効スペースを確保できる折れ戸を採用。内・外の両方向に開けられ、手を放せば自動的に閉まる仕組みとなっている。



多機能トイレ

車いす使用者に配慮した、コンパクト多機能トイレパックを採用。さらに、オストメイトへの配慮として、パウチ・しびん洗浄水栓付背もたれを設置している。



だれでもトイレ①

だれでもトイレは、用足しから手洗いまでが完結できる。利用者の快適性・利便性に配慮し、ウォシュレットや立ち座りをサポートするI型手すりを完備している。



だれでもトイレ①
洗面コーナー

洗面器は、コーナースペースに納まり、コンパクトな空間を有効に広く使えるカウンター一体形コーナー洗面器を採用。水栓は、非接触で衛生的な自動水栓を設置している。



だれでもトイレ②

ウォシュレットのリモコンは、ボタンを押すたびに自己発電し、電源や乾電池が不要なエコリモコンを採用している。



トイレサイン



自由に利用できる「だれでもトイレ」であることが、利用者にわかりやすいように、各トイレ入口には、モノトーンを基調としたビクトグラムを掲示している。

水まわりの特長

改修の経緯

「三洋化成工業株式会社」は、1949(昭和24)年に創業した京都市に本社を構える化学メーカー。人材の多様化と、多様な価値観を受け入れ活躍できる職場環境の実現として、性的マイノリティの総称のひとつであるLGBTQに関する取り組みを推進。社内外相談窓口の設置や社内規定・制度の改定、研修や勉強会の実施、ダイバーシティ通信発行による情報提供、レインボープライドへの参加などを行っている。このたびその一環として、性別を問わず「だれでも」利用できる、「だれでもトイレ」を京都本社に設置。今後、京都地区以外の事業所でも順次導入を検討していくなど、すべての従業員が働きやすい企業の実現を目指している。

トイレの特長

活動の一環として、本社トイレの男性トイレだった場所を、車いす使用者やオストメイトに配慮した多機能トイレと、性的マイノリティの方に配慮しただれでも利用できる個室トイレに改修。全洋式便器とし、ウォシュレットを完備。さらに、高齢者などの立ち座りをサポートするI型手すりを設置している。多機能トイレには、コンパクト設計で空間を有効活用できるコンパクト多機能トイレパックを採用。さらに、オストメイトへの簡易的な対応として、パウチ・しびん洗浄水栓付背もたれが設置されている。この改修に際しては、テクニカルセンターによるセミナーや図面提案が行われ、快適に使えるトイレ空間が計画された。改修後は、利用者からきれいで快適になったとの声をいただいている。

建築概要

名称	三洋化成工業株式会社
所在地	京都市東山区一橋野本町11-1
施主	三洋化成工業株式会社
設計・施工	大日本土木株式会社
竣工年月	(改修)2020年8月
敷地面積	5,937.98㎡
建築面積	1,288.77㎡
延床面積	5,958.14㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地下1階、地上5階

おもなTOTO使用機器

腰掛便器:CS232系+SH232BA
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5533系
棚付二連紙巻器:YH702/カウンター一体形コーナー洗面器:MLRB
台付自動水栓:TENA40系/クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC320W
コンパクト多機能トイレパック:UADAY01R1A1B系/パブリック用手すり:T112系